

第2回非核平和都市宣言起草委員会協議資料

平成22年10月25日(月) 13時30分
京田辺市役所4階403会議室

京田辺市平和都市推進協議会
非核平和都市宣言起草委員会

目 次

第1回起草委員会後の取り組み	1
平和の折り鶴募集・提供概要	2
平和メッセージ募集・応募概要	3
議題 起草案に盛り込む概要の検討について	5
非核平和都市宣言草稿記入シート	6
非核平和都市宣言草稿記入シートまとめ	8

第1回起草委員会後の取り組み

1 非核平和都市宣言起草に関する広報について

第1回起草委員会で多数意見のあった広報の充実に関し、次のとおり取り組みました。

(1) 広報京たなべ

以下の記事を広報京たなべに掲載しました。

- ① 非核平和都市宣言起草委員会の立ち上げ（9月1日号）
- ② 平和メッセージの募集（9月1日号）
- ③ 平和メッセージ・平和の折り鶴の応募結果（10月15日号）

(2) ホームページ

以下の記事を市ホームページ（総務室）に掲載しました。

- ① 非核平和都市宣言の概要
非核平和都市宣言の起草イメージ等
- ② 平和メッセージの募集
- ③ 平和メッセージの募集・応募結果
平和メッセージを掲載
- ④ 非核平和都市宣言起草委員会委員名簿
- ⑤ 第1回非核平和都市宣言起草委員会の概要
会議の概要、協議資料、会議録等
- ⑥ 第2回非核平和都市宣言起草委員会の開催

2 平和の折り鶴募集・提供概要（P2参照）

3 平和メッセージ募集・応募概要（P3参照）

平和の折り鶴募集・提供概要

1 募集の目的

非核平和都市宣言の起草にあたり、市民のみなさんに平和について考えていただくとともに、今後の平和推進事業に活用するため、平和の折り鶴の提供を募りました。

2 募集期間

平成22年（2010年）7月15日（木）～9月17日（金）

3 提供方法

平成22年（2010年）7月15日発行平和推進事業チラシ「平和について考えてみませんか」添付の平和の折り紙又は市販の折り紙等（できれば15×15cm）での提供を依頼し、以下の場所に回収箱を設置した。

- ・市役所総務部総務室 ・京田辺市平和のつどい・平和展会場
- ・市立小・中学校12校 ・中央公民館 ・中央図書館
- ・北部住民センター ・中部住民センター ・社会福祉センター
- ・三山木福社会館

4 広報手段

- ・平和推進事業チラシ「平和について考えてみませんか」を各戸配布、市立小・中学生に配布及び各施設に配置
- ・広報京たなべ7月15日号に掲載

5 提供総数

11, 113羽

6 回収箱設置場所別提供数

回収箱設置場所	提供数
市役所総務部総務室	1, 126羽 (10.13%)
平和のつどい等会場	719羽 (6.47%)
市立小学校	3, 443羽 (30.98%)
市立中学校	999羽 (8.99%)
市立施設	4, 826羽 (43.43%)

平和メッセージ募集・応募概要

○ 募集の概要

1 募集の目的

非核平和都市宣言の起草にあたり、市民のみなさんに平和について考えていただくとともに、市民のみなさんとともに作りあげる非核平和都市宣言の取り組みとして、起草の参考にさせていただくため、平和メッセージを募集しました。

2 募集期間

平成22年（2010年）7月15日（木）～9月30日（木）

3 応募方法

平成22年（2010年）7月15日発行平和推進事業チラシ「平和について考えてみませんか」添付の料金受取人払郵便による応募用はがき又は任意の様式で応募。以下の提出手段を用いた。また、応募用はがきにおいては、「住所・名前・年齢・性別」欄を設けたが、記入は任意とした。

- ・京田辺市平和都市推進協議会事務局(市役所総務部総務室)への郵送・持参
- ・京田辺市平和のつどい・平和展に設置した回収箱へ投函
- ・市立小・中学校12校に設置した回収箱へ投函
- ・電子メールによる送信
- ・市ホームページ上の入力フォームによる送信

4 広報手段

- ・平和推進事業チラシ「平和について考えてみませんか」を各戸配布、市立小・中学生に配布及び各施設に配置
- ・広報京たなべ7月15日号・9月1日号に掲載
- ・市ホームページに掲載

○ 応募の概要

1 応募総数

359点

2 提出手段別応募数

手段	件数
事務局に郵送・持参	43件 (11.98%)
平和のつどい等設置回収箱	47件 (13.09%)
小学校設置回収箱	217件 (60.44%)
中学校設置回収箱	50件 (13.93%)
電子メール送信	1件 (0.28%)
ホームページ入力フォーム送信	1件 (0.28%)

3 性別応募数

性別	件数
男	146件 (40.67%)
女	157件 (43.73%)
無記入	56件 (15.60%)

4 年代別応募数

年代	件数
9歳以下	57件 (15.88%)
10～19歳	219件 (61.00%)
20～29歳	0件 (0.00%)
30～39歳	1件 (0.28%)
40～49歳	5件 (1.39%)
50～59歳	6件 (1.67%)
60～69歳	19件 (5.29%)
70～79歳	11件 (3.07%)
80歳以上	5件 (1.39%)
無記入	36件 (10.03%)

※最低年齢6歳 最高年齢84歳

議題 起草案に盛り込む概要の検討について

1 平和メッセージ集約資料

多数寄せられた平和メッセージを内容別に区分しました。(平和メッセージ集参照)

2 非核平和都市宣言草稿記入シート

本会議の協議資料とするため、事前に各委員に非核平和都市宣言草稿記入シートの記入を依頼しました。(P6参照)

各委員から提出された非核平和都市宣言草稿記入シートをまとめました。(P8参照)

非核平和都市宣言草稿記入シート

起草委員氏名 _____

・第2回起草委員会（10月25日）の出欠予定（該当するものに○をつけてください。）

ご出席

ご欠席

1 宣言文の文調は「である」調と「です・ます」調のどちらがよいと思いますか。よいと思う方の数字に○をつけてください。

1 である調 2 です・ます調
(参考)

(である調の例)：京田辺市の平和都市宣言決議
真の恒久平和は、人類共通の念願である。
しかるに、核軍備の拡張は依然として強まり、世界平和、人類の生存に深刻な脅威をもたらしている。……………

(です・ます調の例)：上記の文を変容
真の恒久平和は、人類共通の念願です。
しかし、核軍備の拡張は依然として強まり、世界平和、人類の生存に深刻な脅威をもたらしています。……………

2 宣言文には京田辺市にちなんだ表現を入れた方がよいと思いますか。よいと思う方の数字に○をつけてください。

1 入れた方がよい 2 入れない方がよい

3 宣言文に入れた方がよいと思われるキーワードなどを5つご記入ください。(記入にあたっては、委員の意見、平和メッセージの他、各自治体の平和都市宣言なども参考にしてください。)

①	
②	
③	
④	
⑤	

4 宣言文に入れた方がよいと思われる文章を3つご記入ください。(記入にあたっては、委員の意見、平和メッセージの他、各自治体の平和都市宣言なども参考にしてください。)

①	
②	
③	

5 その他、宣言文全体のイメージや上記の1～4では表現できない事項などがあれば、ご自由にご記入ください。

--

非核平和都市宣言草稿記入シートまとめ

1 宣言文の文調は「である」調と「です・ます」調のどちらがよいと思いますか。よいと思う方の数字に○をつけてください。

1 である調 3名 2 です・ます調 7名

2 宣言文には京田辺市にちなんだ表現を入れた方がよいと思いますか。よいと思う方の数字に○をつけてください。

1 入れた方がよい 8名 2 入れない方がよい 1名
その他 1名 (文章の流れによる)

3 宣言文に入れた方がよいと思われるキーワードなどを5つご記入ください。(記入にあたっては、委員の意見、平和メッセージの他、各自治体の平和都市宣言なども参考にしてください。)

世界唯一の被爆国等

- ・世界唯一の核被爆国民として核廃絶を訴える
- ・世界唯一の核兵器による被爆国
- ・原爆のおそろしさと唯一の被爆国、核兵器をなくす決意
- ・世界最初の被爆国民

非核等

- ・核廃絶
- ・核兵器の根絶
- ・核兵器廃絶
- ・非核 (2件)
- ・非戦
- ・反核
- ・反戦
- ・平和
- ・世界平和
- ・恒久平和 (3件)
- ・恒久 (的) 平和
- ・世界の恒久平和
- ・非核平和都市

世界の状況

- ・各地で紛争が起き、戦火が絶えない、大量核兵器蓄積
- ・現在の世界の状況、核兵器も作っている事や、戦争・テロがあること

平和によって守られるもの

- ・生命 (2件)
- ・一人の人間の命の重み
- ・生命尊重の精神を基盤として
- ・人権
- ・私たちの願い・・・世界平和、青い地球を守ること

平和に向けて

・対話 ・ 不断努力 ・ 絆

京田辺市にちなんだ表現

・ 緑豊かで健康な文化田園都市（導入部分） ・ 未来のふるさと京田辺（導入部分）
・ 先人の熱き心が育み築いてきた歴史や文化（導入部分）
・ 京田辺市の緑と自然・未来の子ども達を守ること

二度と繰り返してはならない

核兵器は、持たず、作らず、持ち込まさずとの「非核三原則」

日本国憲法に掲げられた恒久平和の理念を市政に生かす

市民へ訴え、世界へ訴える宣言

民衆

平和な日々を送ることは人類共通の願い

2010年、記念すべき年（核廃絶に向けて動き出した）

憲法

人種、宗教の分け隔てなく

- 4 宣言文に入れた方がよいと思われる文章を3つご記入ください。（記入にあたっては、委員の意見、平和メッセージの他、各自治体の平和都市宣言なども参考にしてください。）

日本にちなんだ表現

私たちは世界唯一の核被爆国民として、薄れつつある核兵器の惨状の記憶を新たにし、再びこの地球上に広島、長崎の惨禍を繰り返してはならない事を世界の人々に訴えていかねばなりません。

人類史上最初の原子爆弾の惨禍を体験した私たち日本国民は、核兵器の恐ろしさと被爆者の今なお続く苦しみをかみしめ

戦争も核兵器もない平和な世界は、すべての人々の望みです。唯一、自分の国土に原爆が落され、その惨禍を知っている私達は、二度と核兵器が使用されることなく、すべての国の人々が平和で、安心して暮すことが出来る様、非戦の思いを深め、核廃絶を願い努力することを宣言します。

私達の国は、この65年間一度も戦争をしませんでした。それは素晴らしいことです。これからも世界に誇り得る平和憲法と非核三原則によって、戦争をしない、核兵器も廃絶し、世界中のすべての人々が平和で豊かに生活することが出来る日が来ることを望み、非核平和都市宣言とします。

私たち京田辺市民は核廃絶を強く訴えます。私たち京田辺市民は、日本国憲法に掲げられた恒久平和の理念を市政に生かし緑豊かで健康な文化田園都市作りをめざします。

日本は史上最初の被爆国であり世界に誇るべき平和憲法を持つ国である
未来の世代に対して「対話」と「非暴力」の正道を厳然と示しゆく責務があり使命がある

非核三原則を堅持するだけでなく、実効あるものに強化する

沖縄の基地問題を全国民の課題とし、基地のない町を目指し、行動する

京田辺市にちなんだ表現

私たちが後世に向けて守らなければ（引き継がなければ）ならないもの。それは、京田辺市の豊かな自然と、先人の熱き心が育み築いてきた歴史や文化、そしてそこに息づく市民の笑顔

【再掲】私たち京田辺市民は核廃絶を強く訴えます。私たち京田辺市民は、日本国憲法に掲げられた恒久平和の理念を市政に生かし緑豊かで健康な文化田園都市作りをめざします。

恒久平和は人類共通の念願

核兵器の地球上からの根絶と世界の恒久平和・・・これが私たちの、そして全世界の人々の永遠の願いです。

真の恒久平和は人類共通の念願です
核兵器のない恒久平和の世界をつくる主役は民衆です

恒久平和は、人類共通の念願である

核兵器廃絶への訴え

私たちは訴えます、核をもつすべての国々に、すべての核兵器を今すぐよと！

人類が再び同じ過ちを繰り返さないよう核戦争の防止を求め、核兵器廃絶を強く訴える。

あらゆる国の核兵器の廃絶をめざし

核保有国が率先して核廃絶に向けて責任ある行動を起こすこと

平和への行動

平和は一人一人の「心の平和」から。
「思いやり」と「感謝の心」ですべての生命を大切にする社会に。
世界平和のため、私たちは不断の努力を惜しみません。

自分たちから始めて、下の世代に伝えていけば、いずれ戦争のない平和な世界になる（平和への行動を）

【再掲】日本は史上最初の被爆国であり世界に誇るべき平和憲法を持つ国である
未来の世代に対して「対話」と「非暴力」の正道を厳然と示しゆく責務があり使命がある

人間は等しく、生きる権利をもっています。けれども、戦争は、核兵器は、その権利をうばいます。私達は、戦争をしないことを希求し、核兵器を廃絶することが出来る日まで、希望をもって努力することを誓い、非核平和都市宣言とします。

その他

この平和への思いを世界に広く訴えるため、「非核・平和都市」を宣言する。

私達の願いは、世界の平和と青い地球を守ること、京田辺市の美しくのどかな自然を守り、平和な世界を未来の子ども達に残そう。

私たちは薄れつつある戦争の記憶を常に新たにし、その悲惨と災禍の歴史から

他国に威嚇を与える言動を許さず（排除し）

2010年、米国のオバマ大統領が「核廃絶を目指す」と名言したプラハ演説の実現に向けて行動を開始しました。広島での平和記念式典には、米国大使をはじめ、国連総長、英仏代表が初めて出席し、世界が核廃絶に向けて動き出した記念すべき年となりました。

5 その他、宣言文全体のイメージや上記の1～4では表現できない事項などがあれば、ご自由にご記入ください。

・「核拡散の防止」はあくまで当面の目標。「非核」とは、拡散の防止にとどまらず「核兵器の根絶（廃絶）」であることをしっかり明記すべき。

・宣言だからといって『～を強く訴える』『～を宣言する』だけでは、余りにも他動的で消極的。「核兵器の根絶（廃絶）」だけでなく、世界平和のために我々は（私たちは）『不断の努力を惜しまない』ことを明記すべきでは。

・他市の例を見ると、宣言文の中の市名を取ってしまうと、どこの宣言なのか分からない、あるいはどこの市であっても通用するような、一般論的な表現が多い。特に府内の市の宣言は、ほとんどがこのケース。世界の恒久平和を実現し、未来を担う子ども達に残したいのは、どのような京田辺なのか（豊かな自然や歴史、文化など）を、宣言の中で示せれば。

・京田辺市ならではの文章を入れた方がよい。

・「平和はいいです、とっても気持ちがいいものです。平和は感じもいいし気持ちいいです」
7才の言葉に感動しました。

・戦争と暴力の世紀と呼ばれた20世紀の悲劇を繰り返さないために必要なのは対話だと思
う

戦争や対立の背景には互いの疑心暗鬼がある。だからこそ民衆自身の手で「対話の窓」を広
げていく努力が必要。しかし現代は人と人との結びつきが希薄になっている

特に家庭や地域における人間関係の崩壊は深刻です

互いに励まし合い元気を出せる絆の回復が「生きる力」の源泉となる

自然豊かな京田辺市が歴史と文化を大切にし自他ともの幸福を目指す「貢献的生活」の確立
のために宣言文が出来上がることを望みます

・世界が自国の利益のみにとらわれず、協調の精神を尊重することが戦争やあらゆる争いを
回避する基本であることがわかるような宣言文にしたい。

・憲法によって戦争をできないしくみになっている日本、これは、世界の手本です。この国
の一員として、平和を守る気持ちを持たしたい。そんな、京田辺市民を作りたい。そんな、
文章にしたいです。